

「就任ご挨拶」



全日本電設資材卸業協同組合連合会
会長 忍田 勉

今般開催されました第36回総会におきまして、新たに会長に選任頂きました、忍田勉と申します。宜しくお願いたします。就任に当たり皆様にご挨拶申し上げます。

我々全日電材連は、昭和48年第一次石油ショックが国内を襲った激動の時期に設立され、昭和58年因幡弥太郎会長のもと法人化して以来35年の月日を数えます。以来前任の若林会長が11代目、私が12代目の会長ということ、諸先輩方の功績に敬意を表するとともに、本職の就任で、重責を実感している次第でございます。現在当連合会は、会員企業数733社、総社員数約3万人、年間の売上規模は約2・7兆円の規模をほこります。事業としましては、「総務委員会」「経営委員会」「市場活性化委員会」「広報委員会」そして今期から新たな名称でスタートする「次

世代プロジェクト委員会」の5つの委員会で事業を構成いたします。とくに「次世代プロジェクト委員会」では、前任の若林会長が手がけて、基礎をつくっていただいた若手経営者の会を中心に、次世代の業界を担うメンバーの意見を集約し、この激動の変革期の中、当連合会が業界のリーダーシップをとり続けるための政策の立案、実施を目指してまいります。

又、総会を経て平成30年度の組織構成が固まりました。単組の改選年度でもあり29単組の理事長のうち9名の新理事長が生まれております。又、全日電材連の理事も総数45名のうち11名が新理事、委員会委員については総数60名のうち32名が新しい委員となっております。6月からスタートする活動が、より新鮮で活発になることを今から楽しみにしてお

ります。

第4次産業革命で激変するビジネス環境の中、ITツールで様々な情報を持つユーザーに対し、幅広い知識と専門性が必要となり、さらに「コネクト」連携してつながる力や「アッセンブル」集めて組み立てる力が必要となってきています。そして、目の前には、AI・IoTの新たな需要、空調、LEDを中心とした膨大なストック需要、スマートパワーネットワーク活動による需要創造、HEMS、蓄電池、4K8Kテレビ、電気自動車、防犯設備、弱電商品等々、チャンスはたくさんあります。

潜在する課題を皆様と共有し、存在感のある組合、発進力のある組合をめざし、次世代へ明るい展望を引き継ぐ役割を全うしたいと存じます。ご支援のほど何卒よろしくお願いたします。